

慰問公演再開 皆で楽しく

釣崎 等 75

(空知管内月形町)

18歳からギターを弾き始め、今もバンド活動を続けている。昨年はコロナ禍で自粛していた施設での慰問公演を行った。

バンド4人で、日曜日の午後2時から1時間。昼食後の一番眠くなる時間だ。日にちを決め、ポスターを

作り、みんなで楽しめる構成を考える。バンドのオリジナルソング数曲と昔懐かしい曲と一緒に歌う。歌が苦手な人のために、クイズやゲームも用意する。

最初の慰問では、長いコロナ禍の生活中に会話が少なかった影響なのか、あまり活気がないと感じた。何げないおしゃべりがそれだけ

け重要だったとは。ただ帰る時には「また来てね」と見送ってくれた。

2度目に訪れたときには、みな活力を取り戻していたようだ。われわれが準備を始めると、すぐに集まってくる。次から次へと曲のリクエストも。みんなが集まり一緒に歌うことが、こんなにも「元気」につながるのか。人と人とのつながりの大切さを、あらためて感じた。